

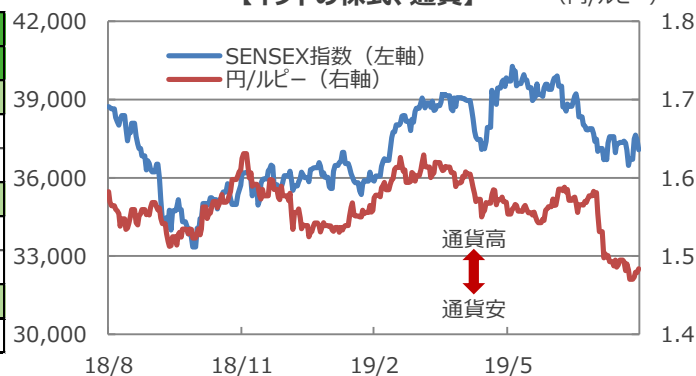
今日のトピック インド株式市場は月下旬に反発（2019年8月後半） インド政府の景気支援策等を好感

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	8月29日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.48	0.1	▲6.2	▲5.7	▲6.2
ルピー/米ドル (ルピー)	71.78	▲0.1	4.4	1.5	1.7
金利 (%)					
政策金利	5.40	0.00	▲0.35	▲0.85	▲1.10
10年国債利回り	6.55	▲0.01	0.14	▲0.86	▲1.37
株式指数 (ポイント)					
SENSEX	37,068	1.6	▲1.6	3.3	▲4.3

(注) データは2019年8月29日基準。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【インドの株式、通貨】



(注) データは2018年8月29日～2019年8月29日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント1 8月の株式市場はもみあい

- 8月のインド株式市場は、米中貿易摩擦の激化や国内景気減速への警戒感などから軟調な動きが続きましたが、月下旬に反発し、もみあい展開となっています。インド政府は23日、外国人投資家に対する追加課税案の撤回や様々な景気支援策を発表しました。株式市場はこれを好感し、週明けの26日には、米中貿易摩擦の激化からアジア市場が大幅に下落するなかでも、急反発しました。その後は再び上値の重い展開となっています。代表的な株式指数であるSENSEXの8月のパフォーマンスは29日現在小幅安ですが、信用格付けの格下げがあった銀行株が大幅に下落するなど銘柄間格差が大きくなっています。

ポイント2 インド政府が景気支援策を打ち出す

- インド政府は23日、7月の予算案に盛り込んでいた外国人投資家に対する追加課税案を撤回したほか、国営銀行への資本注入、住宅金融への追加の流動性供給、自動車の購入促進策などの景気支援策を発表しました。減速している景気を浮上させるため、金融、住宅、自動車などセクターごとに的を絞った対策を打ち出しました。また、インド政府は28日、直接投資に関する外資規制の一部緩和を決定しました。

今後の展開 政策支援により景気持ち直しへ

- インド株式市場は7月以降軟調に推移していますが、一方で株価バリュエーションの割高感は相当程度押しよせられたと考えられます。また、これまで外国人の売りを誘引した外国人投資家に対する追加課税案が正式に撤回されたことで、今後売り圧力が弱まり、株式の需給が改善することが期待されます。インド準備銀行の追加利下げに加え、政府の景気支援策が打ち出されたことで、年度後半の景気持ち直しへの見通しから、株式市場は底堅く推移すると期待されます。

ここもチェック! 2019年8月16日 不安定な動きが続くインド株式市場（2019年8月前半）
2019年7月23日 インド株式市場は軟調な展開（2019年7月後半）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。